

世界遺産白川郷のデジタル・アーカイブ化に必要なメタ情報 ～メタ情報の構成と映像資料～

田中美喜*¹、後藤忠彦*²、佐藤正明*²、谷里佐*²、和田正人*²、大木佐智子*²

＜概要＞世界遺産としての白川郷は、これまで多くの資料が収集、撮影、記録が進められ、特に映像の他に、GPS（位置、高度、時刻）、気温を始め多様なメタデータの利用が可能になってきた。そこで、文化の伝承、文化活動、さらに伝統文化の教育での利用として、これらの情報をどのようなメタデータ構成で管理すべきか、検討して結果を報告する。

＜キーワード＞伝統文化、地域資料、世界文化遺産、デジタル・アーカイブ

1. はじめに

岐阜県大野郡白川村の合掌造り集落は1995年に世界遺産に登録され、現在観光客の増加とともに外国からの注目も高まってきている。これまでに多くの人によって白川郷の研究・調査・資料収集がされ、そのデジタル・アーカイブ化が進められてきた。しかし、文化の伝承、文化活動として利用することを考えると撮影状況の記録が不十分なものが多いと思われる。今後、文化財のデジタル・アーカイブが文化の伝承と教育・観光等に活用できるようにするには、どのようなメタ情報が必要か考える。

世界遺産白川郷のアーカイブ化をするにあたってカテゴリーは、建築物、自然、伝統文化・芸能、郷土・歴史、観光、交通、動植物等に分類できる。その中で建築物、自然、伝統文化・芸能に焦点をあててどのようなメタデータが必要か考える。

理由として、合掌造りの建物に関しては、すでに多くの調査、研究、撮影がされており、建物と歴史的背景のオーラルヒストリーもアーカイブ化されているため過去のデータが豊富であること。自然は建築物や生活や文化にも深く関わりがあること。また私は白川村の伝統芸能や祭り・行事・活動等の伝統文化を通してこの村で続く助け合い精神「結」の心をアーカイブ化していこうと考えているため、伝統芸能、伝統文化にも重点を置いていく。

2. 計画

- ①撮影済みのデータ、これまでの記録項目を整理する。
- ②情報カテゴリー等参考にし、分類分けする。

③過去のメタデータを解析し不足な情報を検討する。

④撮影方法とメタデータ構成表を作成する。

⑤必要なメタデータを記録するため現地で撮影、記録を実践する。

⑥白川村の調査・研究、文化活動や観光、教育に役立つ地域資料となるデータベースを作成する。

⑦白川村の行事・伝統を守り継承していくための調査研究を進めアーカイブ化をする。

3. 計画の実践と考察

現在は過去のデータを収集しメタデータの構成を検討している段階である。計画の①～③の段階である。これまで記録されているメタデータを見ると、撮影日時、撮影者と撮影場所を明らかにするための撮影位置の撮影、さらに近年GPSでの位置情報を記録したものがある。GPS情報は確実に撮影位置、時刻を記録するのに今後も欠かせない。

現時点で加える必要があるメタデータは旧地名の記録、気温（温度）等の詳しい撮影環境と環境情報、さらに正確に大きさ等を計測できる機具を用いての撮影だと考えている。

旧地名は歴史的背景、過去の地理的条件等を探ることができる文化的位置として重要なものとなるので旧地名の記録も現地名と併せて必要となる。今後は市町村合併等が進み旧地名の記録が失われる可能性があるため、貴重な情報を確実に記録していくことが重要になる。

また地球の環境は年々変化し、地形や文化財に与える影響も大きい。先人も今を生きる人も自然とともに生活している。特に白川村では豪

*1 TANAKA, Miki: 岐阜女子大学 e-mail=i340004@gijodai.ac.jp

*2 GOTO, Tadahiko, SATO, Masaaki, TANI, Risa, WADA, Masato, OHKI, Sachiko : 岐阜女子大学

雪地帯であるがゆえ風の向きや日照時間、屋根の勾配、建物の構造一つひとつに多くの先人の知恵が詰まっている。そしてそこで育まれてきた文化や芸能が伝承されている。それを後世に残すためにも環境情報が必要である。現在どのような環境条件を記録すべきか検討中であるが天気、温度、また風向きや降雪量等の詳細な環境記録が必要ではないかと考える。そして、大きさ、立体感、傾斜、色彩、形状が分かるように、ものさし、カラーバーコード、スケール等を取り入れて記録していくことも必要であると考える。

4. デジタル記録計画表

各カテゴリーごとに適した撮影方法を考え、併せて必要と思われるメタ情報を加え以下の表(表1)にまとめた。現在のものはまだ不十分であるのでメタデータの構成と管理は更に検討する必要がある。

<撮影の様子>



写真1. 和田家の撮影



写真2. 撮影者の撮影

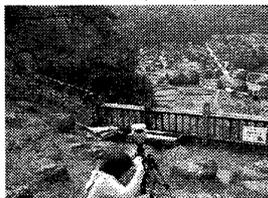


写真3. EGGレンズ撮影



写真4. オーラルヒストリー

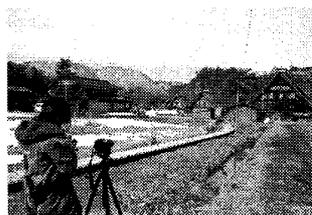


写真5. GPSをカメラに繋げた撮影

4. 課題、今後の研究

情報がより将来に役立つものでなければ意味がない。そのために様々な情報を付け加えていこうと考える。これからの課題としては、情報カテゴリーごとに必要なメタデータが多々考えられ増えてくると思われるが、その中で文化の伝承、文化活動の利用という点での視点で活用できるかを十分に考えながら、どのようなメタデータが必要か更に検討しなければならない。そして新しいメタ情報を取り入れたものを構成する必要がある。

このように構成したメタ情報を取り入れた資料が、今後教材開発に使用できたり、新しい観光情報として発展されたり、何百年後価値のある歴史的資料として更なる研究が進む等、多方面にわたって活用されることが期待できると思われる。

また、メタデータの構成、地域資料の作成、アーカイブ化をするにあたっては、まずその土地のことをよく知ることが必要となる。過去のデータ収集整理だけでなく、現地に足を運び白川村の地域住民に話を伺ったり調査を行いながら研究を進めていく予定である。

表1. デジタル記録計画表

No	撮影記録対象物	一方撮影						多地点撮影		全方向撮影		立体 スキャナー	撮影位置等		撮影環境		撮影条件 スケール カラーバー 50cm 等	撮影状況	その他 備考
		撮影項目	動画	静止画	音声	動画	静止画	動画	静止画	動画	静止画		緯度	高度	時刻	天気			
1	建築物 (合掌造り・外観)	a) 合掌集落	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建築物全体の様子と外観の特徴となる部分が多方向撮影を活用し多くの視点からの画像を撮る。 特に注目すべき外観の特徴は部分撮影し、通り細部が鮮明に見えるように撮影する。 全方向で撮影し、建物の周りの環境を記録。また撮影位置や環境のデータを記録することも必要。
		b) 民家	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c) 稲架小屋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		d) 土蔵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		e) 土蔵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		f) 土蔵	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	建築物 (合掌造り・内観)	a) 屋根裏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一方で撮影するだけでなく、魚眼レンズを用い室内を撮影することで部屋の構造全体を把握しやすいようにする。温度、湿度等の撮影環境を外観と内観と比較し、生活の工夫を探る。 工夫されている内部構造は部分撮影する。室内で使われる家具、生活用具も撮影する。
		b) 生活空間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c) 道具	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	自然・景観	a) 建物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	景観や村全体の様子が見えるよう動画や全方向で撮影する。 市町村合併や地域変動により名前や場所の変更がある可能性があるため、位置情報や撮影環境を記録しておくことが重要になる。
		b) 地形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c) 風景	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	過去の画像の検証		○	○			○					○	○	○	○	○	○	○	過去の画像にはデータが少なく撮影場所等不明なものが多い。その画像の撮影場所の特定をし、新たに位置情報等のデータの付け加え、記録をする必要がある。 過去のデータの不足を踏まえ、これから必要になると思われるデータを検閲する。
5	行事・活動	a) 正月行事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一連の流れ、動作が分かるように、動画での撮影を行う。各場面の細部の様子を静止画で撮影する。 活動、行事の解説、村人の声を記録するため音声を取る。 使用する道具、衣装等を多方向で撮影する。カラーバーコード、ものさしと一緒に撮影し、色や大きさを正確に分かるようにする。
		b) ぶらぶら祭り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c) 屋根の葺き替え	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	伝統芸能	a) 獅子舞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	獅子舞等の動きのあるものは、動画と静止画の両方を用い、併せて音声の記録も行う。 室内以外で演じられる場合もあるため、状況に応じた撮影手法、記録を行う。 使用する道具、衣装等を多方向で撮影する。カラーバーコード、ものさしと一緒に撮影し、色や大きさを正確に分かるようにする。
		b) 尺振	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		c) 春駒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	オーラルヒストリー		○	○								○	○	○	○	○	○	保存会の方、関係者の方等の歴史や文化に詳しい方に撮影した動画を見ながら指摘、解説をしていただく。	
8	古文書		○	○								○	○	○	○	○	○	カラーバーコード、ものさしと一緒に撮影し、色や大きさを正確に分かるようにする。	